

## 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた「政策推進プラン」の見直しについて

### 1 趣旨

県の各部局において、政策推進プランの指標に関する新型コロナによる影響を確認したところ、具体的推進方策指標（555指標（再掲含む））のうち、193指標（全体の35%）に影響が生じるものと見込まれます。

この結果を踏まえ、コロナの影響を踏まえた政策評価を実施し、適切なマネジメントサイクルを確保するため、政策推進プランの指標の見直しを行うこととしますので、報告します。

### 2 調査結果の概要

ア 具体的推進方策指標（555指標（再掲含む））のうち193指標（全体の35%）にコロナの影響が見込まれる。

イ 影響をタイプ別にまとめると下表のとおりであり、また、10の政策分野すべてに影響が生じている。

- ・ 指標の置換えを要するタイプ①（要置換え）が、22指標存在している。
- ・ 目標値の下方修正を要すると考えられるタイプ②（下方修正・累計）、タイプ③（下方修正・長期化）が157指標存在している。

ウ 幸福関連指標については、指標の置換えを要するものはない。

一方、目標値については、「東北1位の水準」や「一定の伸び率（毎年1.0%程度上昇）」などの考え方により設定しているものが多いことから、令和2年度実績や全国数値等を踏まえた上で変更の要否を検討することが必要。

#### ■ タイプ別の状況

タイプ	新型コロナの影響の状況	具体的推進方策指標		【参考】幸福関連指標	
		指標数	割合	指標数	割合
①	コロナ禍を契機に代替の取組や工夫などが期待される指標（要置換え）	22	4%	0	0%
②	令和2年度の実績が誘因となり、令和3年度以降の目標の達成度が毎年「D」となることが見込まれる指標（下方修正・累計）	25	5%	1	1%
③	新型コロナの影響の長期化により、令和3年度以降の事業実績も低調となる可能性がある指標（下方修正・長期化）	132	24%	27	33%
④	前倒しでの目標達成が見込まれる指標（上方修正）	5	1%	0	0%
⑤	事業の延期や中止により実績が存在しない指標	9	2%	0	0%
小計（①～⑤）		193	35%	28	34%
⑥	影響なし	362	65%	54	66%
合計（小計+⑥）		555	100%	82	100%

※ 調査結果の詳細は「別紙」のとおり

1 具体的推進方策指標

政策分野 タイプ	① (要置換え)	② (下方修正・ 累計)	③ (下方修正・ 長期化)	④ (上方修正)	⑤ (実績なし)	小計 (①～⑤の計)	⑥ (影響なし)	計 (①～⑥の計)	①～⑤ の計	⑥の全体に 占める割合
I 健康・余暇	3	9	28	1	0	41	61	102	41	60%
II 家族・子育て	3	0	6	0	0	9	10	19	9	53%
III 教育	2	4	17	0	5	28	90	118	28	76%
IV 居住環境・コミュニティ	2	5	11	1	1	20	20	40	20	50%
V 安全	2	4	6	0	0	12	19	31	12	61%
VI 仕事・収入	0	2	44	2	2	50	74	124	50	60%
VII 歴史・文化	2	0	2	0	0	4	5	9	4	56%
VIII 自然環境	1	0	6	0	0	7	24	31	7	77%
IX 社会基盤	1	0	5	1	1	8	42	50	8	84%
X 参画	6	1	7	0	0	14	17	31	14	55%
計	22	25	132	5	9	193	362	555	193	65%

- 具体的推進方策指標の全555指標（再掲含む）のうち、指標の目標の見直しを要するタイプ①（コロナ禍の目標としてはなじまない指標）は22指標存在する。
- コロナの影響が見込まれる指標をタイプ別に見ると、タイプ③（コロナの影響の長期化により、令和3年度以降の事業実績も低調となる可能性がある指標）が132指標と最も多く、うち政策分野別では「IV 仕事・収入」と「I 健康・余暇」の合計が72指標と、その過半数を占めている。
- コロナの影響が見込まれないタイプ⑥は362指標であり、タイプ⑥の全体に占める割合が高い政策分野は「IX 社会基盤」、「VIII 自然環境」、「III 教育」となっている。

2 幸福関連指標

政策分野 タイプ	① (要置換え)	② (下方修正・ 累計)	③ (下方修正・ 長期化)	④ (上方修正)	⑤ (実績なし)	小計 (①～⑤の計)	⑥ (影響なし)	計 (①～⑥の計)	①～⑤ の計	⑥の全体に 占める割合
I 健康・余暇	0	0	6	0	0	6	5	11	6	45%
II 家族・子育て	0	0	1	0	0	1	6	7	1	86%
III 教育	0	0	0	0	0	0	18	18	0	100%
IV 居住環境・コミュニティ	0	0	6	0	0	6	1	7	6	14%
V 安全	0	1	0	0	0	1	3	4	1	75%
VI 仕事・収入	0	0	7	0	0	7	7	14	7	50%
VII 歴史・文化	0	0	1	0	0	1	2	3	1	67%
VIII 自然環境	0	0	3	0	0	3	4	7	3	57%
IX 社会基盤	0	0	0	0	0	0	5	5	0	100%
X 参画	0	0	3	0	0	3	3	6	3	50%
計	0	1	27	0	0	28	54	82	28	66%

- 幸福関連指標の全82指標（再掲含む）のうち、指標の目標の見直しを要するタイプ①（コロナ禍の目標としてはなじまない指標）は存在しない。

# 各政策分野の主な指標に対するコロナの影響の状況

※影響のタイプは、令和2年度に県の各部局において行った調査時点での見込みを暫定版として掲載しているものであり、今後、令和2年度実績等を踏まえ、詳細を精査していくものであること。

- 【凡例】 新型コロナによる影響のタイプ**
- ①: コロナ禍を契機に代替の取組や工夫などが期待される指標(要置換え)
  - ②: 令和2年度の実績が誘因となり、令和3年度以降の目標の達成度が毎年「D」となることが見込まれる指標(下方修正・累計)
  - ③: 新型コロナの影響の長期化により、令和3年度以降の事業実績も低調となる可能性がある指標(下方修正・長期化)
  - ④: 前倒しでの目標達成が見込まれる指標(上方修正)
  - ⑤: 事業の延期や中止により実績が存在しない指標

政策分野	具体的推進方策指標	単位	現在の目標値				影響のタイプ	コロナの影響の状況			
			R1	R2	R3	R4					
I 健康・余暇	介護ロボット導入に係る補助台数(累計)	台	100	150	200	230	④	コロナの影響を踏まえた補助額等の拡充により、令和4年度までの目標値を令和2年度で達成する見込み。			
	岩手芸術祭参加者数(累計)	人	27,000	49,000	71,000	93,000	①	公演中止や、会場の入場者数制限、外出自粛により来場者数が減少したが、オンライン配信による参加機会の拡大に取り組んでいく。			
	県立文化施設(県民会館、県立博物館、県立美術館)利用者数	人	449,500	453,500	457,500	462,500	③	イベントの開催制限等により鑑賞者数が減少する可能性がある。			
	障がい者スポーツの教室・大会の参加人数(累計)	人	3,070	6,200	9,390	12,640	②	令和2年度は、県障がい者スポーツ大会を中止とした。また、スポーツ教室等も実施しているものの、参加者が少ない傾向にある。			
II 家族・子育て	青少年活動交流センター利用者数	人	23,000	23,000	23,000	23,000	③	団体活動室等において来場制限を行っており、令和2年度実績は、12,000人程度と大幅な減少となる見込み。			
	子ども・若者支援セミナー受講者数(累計)	人	200	400	600	800	①	参加者を会場収容人数の50%以下に制限したため、令和2年度実績は、62人と大幅な減少となった。一方、オンラインの活用など新たな取組も実施しており、対面を前提とした指標からオンラインも含む形式への変更が適当。			
	動物愛護普及啓発行事の参加者数(累計)	人	1,800	3,600	5,400	7,200	③	中止や規模縮小により、令和2年度実績は、701人と大幅な減少となった。犬のしつけ教室など、行事の性質上オンラインへの移行が困難なものも多く、当面厳しい状況が続くものと見込まれる。			
III 教育	特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した教員数(累計)	人	小 79 中 41 高 17	小 158 中 82 高 34	小 237 中 123 高 51	小 316 中 164 高 67	③	他校教員の参加を制限をする学校もあり、令和2年度実績は、コロナによる影響が見込まれる。			
		科学技術普及啓発イベント等来場者数	人	7,700	7,800	7,900			8,000	①	集合型イベントの一部が中止となり、令和2年度実績は、大幅な減少となる見込み。一方、イベントの中には、オンライン開催としたものあり、来場者数からオンラインも含む形に指標名の置き換えが適当。
		いわてグローバル人材育成推進協議会の支援制度を利用して海外留学した学生数(累計)	人	5	10	15			20	⑤	海外派遣が中止になったため、令和2年度実績は存在しない。
	国民体育大会天皇杯順位	位	東北1位	東北1位	東北1位	東北1位	⑤	「第75回国民体育大会」が延期されたため、令和2年度実績は存在しない。			

政策分野	具体的推進方策指標	単位	現在の目標値				影響のタイプ	コロナの影響の状況
			R1	R2	R3	R4		
IV 居住環境・コミュニティ	三陸鉄道の年間利用者数	万人	120	110	110	110	③	第3四半期までの実績は、令和2年度目標値の半分以下であり、第4四半期の実績を加えても目標達成は難しい状況。
	移住相談件数	件	3,720	3,940	4,160	4,380	④	首都圏では、緊急事態宣言期間中の対面相談を見送る傾向がある一方、コロナによる地方への関心の高まりに伴う相談ニーズの増加も見込まれるため、令和2年度実績の見極めが必要。
	国際交流センター来館者数	人	156,100	159,300	162,500	165,800	①	完全予約制としたことから、令和2年度実績は大幅な落ち込みが見込まれるが、語学講座等を対面式からウェブに切り替えるなどの取組も実施しており、ウェブも含む形式に指標を変更することが適当。
V 安全	デートDV出前講座受講者数(累計)	人	3,500	7,000	10,500	14,000	①	出前講座の申込数が低調であり、1回あたりの人数も少なかったため、令和2年度実績は、1,500人程度と大幅な減少となる見込み。一方、新たにオンラインの活用を図っており、オンラインも含む形式に指標を変更することが適当。
	食育普及啓発キャラバンの参加者数(累計)	人	260	520	780	1,040	③	事業の中止により、令和2年度実績はゼロとなった。県内の幼稚園等を訪問し、直接普及啓発活動を行うという取組の性質上、オンラインへの移行は困難であり、今後も実績が低調となる可能性がある。
	食育と食を楽しむイベントの参加者数(累計)	人	54,000	108,000	162,000	216,000	③	中止又は規模を縮小したイベントが多く、令和2年度実績は、24,200人と大幅な減少となる見込み。現地での試食や体験活動など、イベントの性質上、オンラインへの移行は困難であり、今後も実績が低調となる可能性がある。
VI 仕事・収入	経営革新計画承認件数(累計)	件	629	669	709	750	④	コロナの感染拡大に伴う経営環境の変化に対応するため、新たな取組にチャレンジする中小企業が増加するものと見込まれる。
	岩手県が実施する物産展・展示販売会等への伝統工芸産業事業者の出展者数(延べ)	者	210	220	230	240	③	都市部の百貨店等で開催されるため、開催中止、事業者の出展辞退等が生じており、令和2年度実績は低調となる見込み。
	観光消費額単価(日本人・県外・宿泊)	千円	34.2	34.8	35.4	36.0	③	令和2年7月から9月の実績は26.5千円であり、前年同期の89.2%にとどまっている。今後も、コロナの長期化により消費控えが続く可能性がある。
	国際線の運航回数	回	440	628	628	628	⑤	上海線が令和2年2月から、台北線が令和2年3月から、それぞれ運休が続いており、令和2年度実績は存在しない。
	農林漁家民泊等利用者数	人回	62,600	63,200	63,800	64,400	③	コロナの影響により、令和2年度実績は大幅な減少となる見込みであり、今後も厳しい状況が続くものと見込まれる。

政策分野	具体的推進方策指標	単位	現在の目標値				影響のタイプ	コロナの影響の状況
			R1	R2	R3	R4		
VII 歴史・文化	講演会・フォーラム等参加者数(累計)	人	620	1,260	1,920	2,600	①	会場への入場者数制限や外出自粛により令和2年度実績は減少する可能性があるが、オンライン配信による参加機会の拡大を図っていく。
	「岩手県民俗芸能フェスティバル」鑑賞者数(累計)	人	800	1,600	2,400	3,200	①	会場への入場者数制限や外出自粛により令和2年度実績は減少となったが、オンライン配信による参加機会の拡大に今後も取り組んでいく。
VIII 自然環境	水と緑を守り育てる環境保全活動数(累計)	件	840	1,680	2,520	3,360	③	令和2年度実績は、活動の自粛により約600件と大幅な減少となる見込み。森林、河川及び海岸における調査活動であり、オンラインへの移行が困難であることから、今後も実績が低調となる可能性がある。
	主要ジオサイトの観光入込客数	千人	1,115	1,115	1,115	1,115	③	令和2年度実績は、688千人程度と大幅な減少となる見込み。コロナの長期化により、今後も実績が低調となる可能性がある。
	気候変動対策に関する総合イベント参加者数(累計)	人	5,000	10,000	15,000	20,000	①	イベントの規模縮小を余儀なくされたため、令和2年度実績は低調となる可能性があるが、一方で、オンラインやメディアによる企画も加えて実施しており、オンライン等も含めた形式への指標の変更が適当。
IX 社会基盤	ICTフェア来場者数	人	520	560	600	640	①	令和2年度は、オンラインでの開催としたことから、来場者数のみではなく、オンラインでの参加者数も含める形式に指標を変更することが適当。
	超高速ブロードバンド(光ファイバー)サービス拡大支援エリア数(累計)	箇所	3	6	9	12	④	国補正予算により、令和3年度末までに市町村が希望する全地域で光ファイバーが整備される見込み。
	外国船社が運航するクルーズ船寄港回数	回	2	3	3	4	③	令和2年度実績は0回となった。今後は、ワクチン接種の進展等により寄港の再開が見込まれるものの、現時点で先行きを見通すことは困難。
X 参画	男女共同参画フェスティバル参加者数(累計)	人	1,000	2,000	3,000	4,000	①	令和2年度は、オンラインでの開催としたことから、来場者数のみではなく、オンラインでの参加者数も含める形式に指標を変更することが適当。
	出前講座受講者数(累計)	人	4,400	8,800	13,200	17,600	①	令和2年度実績は、1,500人程度と大幅な減少となる見込み。一方で、新たにオンラインの活用を図っていることから、オンラインも含めた形式への指標の変更が適当。
	いわて若者会議参加者数(累計)	人	200	400	600	800	①	令和2年度実績は、大幅な減少となる見込み。一方で、新たにオンラインを組み合わせた実施方式に変更したことから、来場者数のみではなく、オンラインも含めた形式への指標の変更が適当。